



平成30年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月11日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪本 浩司 (TEL) 03 (5212) 5212
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第3四半期の連結業績 (平成29年12月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	1,082	△30.3	62	△74.2	59	△74.7	31	△84.3
29年11月期第3四半期	1,552	△52.2	242	△40.6	235	△40.2	202	△42.8

(注) 包括利益 30年11月期第3四半期 37百万円(△82.6%) 29年11月期第3四半期 214百万円(△37.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第3四半期	0.85	0.84
29年11月期第3四半期	5.41	5.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第3四半期	3,354	2,402	71.5
29年11月期	3,468	2,400	69.2

(参考) 自己資本 30年11月期第3四半期 2,399百万円 29年11月期 2,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
30年11月期	—	0.00	—	—	—
30年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年11月期の配当金につきましては、現在は未定です。

3. 平成30年11月期の連結業績予想 (平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,610	122.9	350	82.9	340	93.2	290	92.4	7.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年11月期3Q	37,492,371株	29年11月期	37,475,371株
② 期末自己株式数	30年11月期3Q	27,500株	29年11月期	27,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年11月期3Q	37,452,195株	29年11月期3Q	37,406,775株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年12月1日～平成30年8月31日)における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業業績の向上や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、日本国内で多発した自然災害による景気への影響、米国の保護主義的な通商政策による世界的な貿易摩擦と世界経済の下振れリスク等が懸念され、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業が属する不動産業界では、低金利環境下での良好な資金調達環境を背景とした国内外の投資家の物件取得意欲に支えられ、不動産市場の回復は鮮明となっており、その一方で、今後の新規物件の取得にあたっては、物件の取得価額と収益性のバランスを慎重に見極めることが必要となっており、また、太陽光発電業界におきましては、長期間にわたって安定して高い利回りが期待できる点、残価リスクがほぼない点、現在の良好な資金調達環境などにより、今後は利回り商品としての需要拡大が見込まれております。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業では、引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて、投資家ニーズに適合した魅力的な商品開発に努めております。当第3四半期連結累計期間においては、新たに民泊等宿泊事業ファンドを設立いたしました。

また、インベストメントバンク事業では、割安な不動産物件への投資・バリューアップを行うべく国内外の物件のソーシングに努めました。国内においては販売用不動産の取得と販売を行ったほか、新規開発用の不動産取得を行いました。海外不動産につきましては、前期に取得しバリューアップを行った米国カリフォルニア州の物件の販売が完了したほか、新たに同州にて複数物件を取得しバリューアップ施策を推進いたしました。さらに、新たに取り組んでおりますテキサス州の物件につきましても、引き続きマーケティングを進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,082百万円(前年同期比30.3%減)、営業利益62百万円(前年同期比74.2%減)、経常利益59百万円(前年同期比74.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益31百万円(前年同期比84.3%減)となりました。

<アセットマネジメント事業>

当第3四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は170億円(一部円換算US\$1.00=111.06円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は221億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業につきましてもアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高220百万円(前年同期比30.8%増)、セグメント利益76百万円(前年同期のセグメント利益は12百万円)となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、国内外の販売用不動産の売却や保有不動産の賃料収入等により855百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、金融商品仲介業務による報酬等により6百万円計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高861百万円(前年同期比37.7%減)、セグメント利益153百万円(前年同期比63.0%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

（資産の状況）

流動資産は、前連結会計年度末比、販売用不動産が91百万円、未成工事支出金が58百万円増加し、一方で未収入金が111百万円、現預金が202百万円減少したこと等により、全体では131百万円減少し2,736百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末比、投資有価証券が12百万円増加したこと等により、全体では18百万円増加し617百万円となりました。

（負債の状況）

流動負債は、前連結会計年度末比、借入金が111百万円増加したこと等により、全体では106百万円減少し883百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末比、借入金が1百万円減少したこと等により、全体では8百万円減少し69百万円となりました。

（純資産の状況）

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益31百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末比では1百万円増加し2,402百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、上記のとおりであり、平成30年1月12日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の業績等につきましては、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,450	1,248
売掛金	16	16
未収入金	120	9
有価証券	128	106
営業投資有価証券	347	410
販売用不動産	586	678
未成工事支出金	41	99
立替金	36	61
その他	141	106
流動資産合計	2,868	2,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9	8
工具、器具及び備品(純額)	10	9
土地	402	402
有形固定資産合計	422	421
無形固定資産		
投資その他の資産	1	0
投資有価証券	99	111
その他	75	84
投資その他の資産合計	175	195
固定資産合計	599	617
資産合計	3,468	3,354
負債の部		
流動負債		
短期借入金	654	782
1年内返済予定の長期借入金	25	8
短期社債	200	—
未払金	58	42
未払法人税等	9	5
賞与引当金	—	12
預り金	14	2
前受収益	11	13
その他	15	16
流動負債合計	989	883
固定負債		
長期借入金	1	—
その他	76	69
固定負債合計	78	69
負債合計	1,067	952

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,170	1,171
資本剰余金	664	664
利益剰余金	519	513
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,351	2,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	51
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	46	51
新株予約権	2	2
純資産合計	2,400	2,402
負債純資産合計	3,468	3,354

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
売上高	1,552	1,082
売上原価	905	618
売上総利益	646	463
販売費及び一般管理費	404	400
営業利益	242	62
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	3
その他	4	5
営業外収益合計	7	8
営業外費用		
支払利息	10	10
資金調達費用	2	0
その他	1	—
営業外費用合計	14	11
経常利益	235	59
特別利益		
その他	0	—
特別利益合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	235	59
法人税、住民税及び事業税	33	25
法人税等調整額	△0	1
法人税等合計	32	27
四半期純利益	202	31
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	202	31

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日)
四半期純利益	202	31
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	5
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	12	5
四半期包括利益	214	37
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214	37
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	168	1,378	5	1,552
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	—	0
計	168	1,378	5	1,552
セグメント利益又は損失(△)	12	422	△7	426

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	426
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△187
四半期連結損益計算書の営業利益	242

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネ ジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	220	855	6	1,082
セグメント間の内部売上高又は 振替高	40	—	—	40
計	261	855	6	1,123
セグメント利益又は損失(△)	76	176	△23	229

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	229
セグメント間取引消去	20
全社費用(注)	△187
四半期連結損益計算書の営業利益	62

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。